

報道関係 各位

ひたちなか海浜鉄道株式会社

令和3年度（第14期）決算について（お知らせ）

標記の件について、下記のとおり決算が確定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 決算概要

- 輸送人員…108万5,962人（令和3年4月に開校した美乃浜学園の児童生徒の輸送（約27万3千人）が新たに加わったことから、開業以来過去最高を記録したが、それを除くと過去最多となった令和元年度の76.6%）
- 旅客運輸収入…1億5,869万円（開業以来過去最低だった前年度に比べ21.6%の増となったものの、令和元年度の78.5%）
- 単年度収支…1,831万2千円の赤字で、赤字は2年連続

令和3年度については、前年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、厳しい経営となりました。

輸送人員については、通勤定期は、前年度に比べ0.8%増の18万3,158人、通学定期は、昨年4月に開校した市立の小中一貫校「美乃浜学園」の児童生徒の通学輸送が加わったことにより前年度に比べ103.8%増の61万5,350人となり、定期旅客全体では、前年度に比べ65.1%増の79万8,508人となりました。

定期外旅客については、前年度と同様、大型イベントの開催中止やインバウンドの入国制限などは継続されましたが、国内のワクチン接種が進んだことなどにより外出が増え、前年度に比べ22.2%増の28万7,444人となりました。

この結果、定期、定期外を合わせた年間輸送人員は、前年度に比べ51.0%増の108万5,952人となり、開業以来過去最多となりましたが、「美乃浜学園」の通学輸送（年間約27万3千人）を除くと、コロナ前で過去最多であった令和元年度の輸送人員までは回復しませんでした（令和元年度比76.6%）。

旅客運輸収入については、輸送人員が増加したことにより、前年度に比べ21.6%増の1億5,869万187円となりましたが、令和元年度と比較すると、その8割（78.5%）程度に留まり、運輸雑収を含む営業収益全体では、前年度に比べ約2,890万円増の2億1,462万497円となりました。

営業費については、検査車両数の増による修繕費の増や車両燃料の高騰による内燃動力費の増のほか、前年度は実施を見合わせたネモフィラシャトルバスを運行したことなどにより、前年度に比べ約6,550万円増の3億2,213万7,038円となりました。

この結果、営業損益は、△1億751万6,541円、営業外損益を含む経常損益は、△

1億666万6,442円となり、国、県、市からの補助金を充当しても税引き後の当期純損益は、△1,831万2,229円となり、2年連続赤字となりました。

なお、取締役3名の役員は、重任することが承認されました。

2. 輸送人員

(単位：人)

	定期旅客			定期外旅客	合計
	通勤定期	通学定期	定期計		
令和2年度	181,776	301,968	483,744	235,262	719,006
令和3年度	183,158	615,350	798,508	287,444	1,085,952
対前年度比	100.8%	203.8%	165.1%	122.2%	151.0%

3. 営業収益

(単位：千円)

	定期旅客			定期外旅客	旅客運輸収入合計	運輸雑収	営業収益合計
	通勤定期	通学定期	定期計				
令和2年度	30,289	36,188	66,477	64,035	130,512	55,179	185,691
令和3年度	30,155	49,619	79,774	78,916	158,690	55,930	214,620
対前年度比	99.6%	137.1%	120.0%	123.2%	121.6%	101.4%	115.6%

4. 収 支

(単位：千円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増減
営業収益	214,620	185,690	28,930
営業費	322,137	256,576	65,561
営業損益	△107,517	△70,886	△36,631
営業外収益	850	3,798	△2,948
営業外費用	0	0	0
経常損益	△106,667	△67,088	△39,579
特別利益	125,572	163,419	△37,847
特別損失	36,883	112,089	△75,206
税引前当期純損益	△17,977	△15,758	△2,219
法人税、住民税及び事業税	335	335	0
当期純損益	△18,312	△16,093	△2,219

お問い合わせ先 … ひたちなか海浜鉄道 吉田、海埜、大重、中山
☎029-262-2361